

衆議院小選挙区選出議員選挙 選挙公報

神奈川県選挙管理委員会

- 政策1 「子どもの貧困」を断つ！ 子ども手当創設を目指します。
- 政策2 消費増税凍結。「賢い支出」で未来へ投資！
- 政策3 絶対に脱・原発!! 新エネルギーの確立を。
- 政策4 動物殺処分ゼロへ <http://mashiroryo.com/>

真白 リョウ (本名 宇都宮優子) 昭和51年10月14日、寝屋川市生まれ、40歳。小沢一郎政治塾出身。

趣味 易、神社仏閣巡り、ものを創ること **座右の銘** 小義を捨てて、大義を得る。
好き 音楽、義理人情、信頼、正直 **嫌い** 弱者イジメ、うそ、強欲
 EXILE、アイドル、TVドラマへ楽曲提供する傍ら、現代の若者の心の闇を描いたケータイ小説『飛べない鳥』が、書籍化。
 福島原発事故後、メディア報道に疑問を抱き、政治や世界史を独学で勉強。小沢一郎政治塾で政治経済を学び、ボランティア活動としてセミナーを開催。議員会館を皮切りに全国的に展開。
 安保法制が施行された日本の未来を描く『H☆ERO HEIZO』では初の脚本、音楽監督をつとめ、京都、築地本願寺にて公演。
 昨年の参議院選挙では、アイドルとコラボした『GO VOTE』CMを制作。渋谷、新宿の11ビジョンに流すことに成功。
 2016年 自由党大阪府第12区総支部長に就任(現在は離党)。
 2017年 希望の党公認候補として神奈川11区で立候補。

住所:神奈川県横須賀市大滝町2-17 TEL:046-824-1101

黒い政治を真っ白に!

毎日働き、納税もして、真面目に暮らしているのに、なぜ漠然とした不安を抱えないといけないのでしょうか。

それでもまだ、あなたは安倍政権を信じますか?

黒い政治を真っ白に!
今こそ、流れを変えるチャンスです。

『政治とは生活』。
 『シェアできる社会』
 『自立と共生』
 『子ども達が未来にワクワクできる日本』を創る!
 私は今、その想いと情熱しかありません。
 皆様のお力をお貸しください。

希望の党



真白



小泉進次郎

さあ、進もう。次へ。

2014年の3回目の当選以来、有権者のみなさんの負託に応えたいという一心で、全力で駆け抜けてきました。この約3年間の途中で特に注力したのは、農林部会長としての仕事です。全国の農業現場に行き、多くの声を聞いて、農家の方々にとって魅力ある、稼げる農業を実現するための改革を進めてきました。

常に思い浮かべていたのは、生まれ育った横須賀・三浦の豊かな畑の景色と、汗して働く農家のみなさんの顔でした。日本各地の現場を知れば知るほど、地元をさらさらしや可能性の再発見につながり、漁業を含め「食」が豊かな土地で暮らすことへの感謝の気持ちが強くなりました。その経験は、日本の「食」の力を健康・長寿に役立て、次世代に過度な社会保障の負担を残すことのない「真の医食同源の国づくり」を実現したいという思いにつながりました。

また、子ども・子育てを社会全体で支えるために「子ども保険」の創設に向けた活動にも力を入れました。原動力になったのは、地域社会に守られながら育ってきた私自身の原体験です。横須賀・三浦のように人のつながりを大切に温かい社会が、子ども・子育てを支える。そんな国をつくりたい。

18才になって初めて衆議院選挙に参加するみなさん。赤ちゃんの将来を案じながら今回の選挙にのぞむお母さんやお父さん。人生100年時代の生き方を真剣に考えている、すべての世代のみなさん。私は、東京オリンピック・パラリンピックの先の、2020年以降を見据えた国づくりを考え、行動していきたい。来年は明治維新から150年。「平成30年」を最後に、再来年からは新たな元号の日本がはじまる予定です。

「平成30年」を最後に、再来年からは新たな元号の日本がはじまる予定です。考えましよう。新しいこの国のかたちを。

人口減少、少子化、高齢化は大きな課題です。時代の変化は速く激しく、北朝鮮情勢をはじめ、私たちは多くの困難に直面しています。それでも一人ひとりの力を高め、それぞれの地域が切磋琢磨し、日本が本来もっている力を引き出せば、平和で創造力にあふれ、活力ある未来を描くことができます。私は、みなさんとともに次の新しい国づくりに挑んでいきたい。

さあ、進もう。次へ。

小泉進次郎の4度目の挑戦に力強いご支援、どうぞよろしくお願ひします。

小泉進次郎

自民党公認 比例代表も自民党へ shinjiro.info/2017/ 日々の活動はtwitter.com/shinjiroから

野党と市民の共同で新しい政治をつくる



せと和弘

「戦争する国づくり」NO
 横須賀に原子力空母はいらない
 「森友・加計」疑惑の真相究明にフタをたたき、
 「今やれば多数をとれる」などと解散することは、
 党利党略以外の何物でもありません。同時に、安倍政権による国政の私物化と憲法破壊の政治への国民の批判に国会で説明できない安倍政権のゆきづまりはあきらみません。これ以上、憲法とくらしを壊す政治を続けさせてはいけません。「政治を変えてほしい」という市民の期待にこたえ、私は、野党と市民の共同で、新しい政治をつくるために全力でがんばります。

党11区 平和基地・市民対策部長
 1952年北海道生まれ。北海道立津別高校卒業。湘南電器成型機に勤務を経て、党三浦半島地区委員会に勤務。現在、党県委員、三浦半島地区副委員長。趣味はクラシックギター、将棋。家族は妻、葉山町在住。

共産党躍進で安倍暴走政治退場を

増税するなら「アベノミクス」で大儲けをあげている富裕層と大企業に自分の負担を求めます。大軍拡と大型開発中心の予算にメスを入れ、医療、介護など社会保障、教育、子育てなど、格差と貧困の是正につながる予算を増やします。中小企業と農業を守ります。

消費税10%は中止

「残業代ゼロ法案」を許さず、長時間労働を法律で規制し、過労死を根絶。非正規から正規への流れをつくり、最低賃金を大幅に上げます。

8時間働けばふつうに暮らせる社会を

北朝鮮の核開発とミサイル発射の悪化は絶対に許せません。偶発による戦争を絶対に起こしてはなりません。経済制裁強化と一体に「対話による平和的解決」は世界の流れ。日本政府は圧力一辺倒ではなく、「対話による平和的解決」のインシアチブを発揮するべきです。

北朝鮮の無法に抗議、経済制裁と一体の「対話による平和的解決」を

●核兵器禁止条約に参加する政府を唯一の被爆国・日本政府は、いまこそ核兵器禁止条約に参加することです。核兵器廃絶の先頭に立ってこそ、核保有国に核兵器禁止を求められます。

原発再稼働をやめ 原発ゼロの日本へ

「海外で戦争する国」にする
憲法9条改憲は「ノー」
 安倍政権が強行した安保法制、秘密保護法、共謀罪はすべてが「海外で戦争する国づくり」の道具。三つの違憲立法は廃止し、民主主義と立憲主義の回復を。世界に誇る日本の憲法9条を守り、平和外交を求めます。

比例代表は**日本共産党**と書き

日本共産党を伸ばし安保法制廃止、憲法守る政治へ

衆議院小選挙区選出議員選挙 選挙公報

神奈川県選挙管理委員会



労働の解放をめざす労働者党
あくつ孝行
67歳

労働者の代表として立候補した私の基本的な政策

私はまず二つの点について、基本的な二つの政策的立場を明らかにしたいと思います。
一つは、長時間労働、ブラック企業などに象徴される、搾取労働の即時廃止の要求です。
二つは、2千万人にも急増してきた非正規労働者や、低賃金や身分的不公平などに苦しむ女性労働者の間に広がる格差問題、差別労働の即時一掃の要求です。
こうした私の要求は、何が非現実的で、途方もないものと思われるかも知れませんが、事実上、安倍首相自身が、昨年の秋、「働き方改革」を断行し、同一労働同一賃金の実現を宣言したときに声を大にして主張し、公約したことにすぎません。
当時、安倍首相は、差別労働の廃止は「待ったなしの重要課題」と言い、また、「この日本から非正規労働者という言葉を「掃す」と大言壮語しました。
長時間の殺人的労働の一掃は「躊躇(ちゆうちゆう)をなすに任せて」といわば公約しました。
これらの言葉は、長時間に及ぶ搾取労働や不当な差別労働を、最優先の課題とし、即時に、「躊躇(ちゆうちゆう)なく」行っていく、首相の労働者、勤労者への公約ではなかったでしょうか。
しかし首相は言っただけで、まじめに実現しようという意思はありませんでした。同一労働同一賃金についても、「全社への貢献度」なども評価するべき等々を持ち出した。同一労働の一掃に具体的に取組む気配は全くありません。ただ一時的リターンサービスです。
私たちは安倍政権に対し、我々の要求を断固として、迅速に実行し、実現するように要求します(もちろんその実現の仕方は、新しい法律を作ることか、首相の勝手です)。

小泉氏のごくも保険による幼児教育無償化政策に反対します

小泉氏の主張は一言でいって、労働者の厚生年金などの保険料を引き上げて(労使共に0.5%ずつ、計1%)、それを財源に幼児教育無償化を実現するというものです。
つまり労働者の負担で、政治家たちの人気取りのためにバラまきをするというものです。
小泉氏は教育無償化の内容について、ごくも保険とは0歳児から幼児のいる家庭に、労働者の保険料の引き上げを財源に、特別な給付をすることを言っています。しかし各家庭に力金をバラまくことは、教育無償化とは違います。と言っているのは、バラまかれた力金が乳幼児のために、とりわけ「教育」のために支出されるというたぐいでは違つかうです。
そもそも、乳幼児の保育という、その「教育」といって、幼稚園や保育園が違った「理念」に基づいて共存し、しかもその両方とも公立、私立がそれぞれ無秩序に混在し、さらには保育所や幼稚園にも通わない乳幼児が4割もいるという現状をどうこんな混沌を整理することなく、乳幼児の保育や「教育」の無償化(言っても空文句にしかありません)。
乳幼児「教育」と騒がれますが、日本は(世界でも)学齢年齢が決められ、規定されており、基本的に6才以上になっています。
小泉氏は幼児教育無償化は、社会保険を高齢者中心から乳幼児にまで及ぼす「全世代型」のものに変えていくことだと言いますが、社会保障の比重が高齢者に傾くのは当然です。
必要なことはこの困難な社会保障問題を真剣に、合理的な観点で考え、解決することです。「全世代型」の「社会保障」について語る必要が無く、高齢者には失礼だし、現役世代にも不愉快な発言です。そんなことをいって「全世代型」の「バラまき政策を正当化しようとするな」。首相も小泉氏も「全世代型」の「バラまき政策を正当化しようとするな」。

今働く女性や労働者にとつて、乳幼児に関する緊急課題は、待機児童を早急に一掃することです

今働く女性や労働者にとつて、乳幼児に関する緊急課題は、待機児童を早急に一掃することです。非現実的な教育無償化について空論をもちあそぶことではありません。
「こつた無責任で、軽はずみな政策や発言を見ると、小泉氏はまさに、親父譲りか、安倍任地みかか知りませんが、無原則のポピュリズム政治家の1人でしかありません。この問題に限らず、結局は安倍政権や自民党の責任のある要職に次々とつきまわし、しかも森友学園、加計学園等々、首相を中心とした国家ぐるみの権力犯罪については何一つ発言していません。つまりそれを擁護していることが取れません」。

瀬戸氏、野党共闘は野党野合ではないですか

旧野党共闘は、共産党と市民派と民進党の共同でしたが、三者三様、根本的な思想や政治路線や政策さえ異なるのですから、それぞれ独自の政党や政治勢力として、自分の考えに従い、自分の独自の闘い方で、自分の最大限の力を出して闘い、全体としての闘いの力を高め、安倍政権を倒せばいいのであって、またあれこれの闘いの具体的場面や段階で事情が許し、客観的に意義があり、また両者が納得するなら協力すればいいのであって、最初から原則的な立場で異なる政党が協力しなくてはならないなどいって、お互いの原則を崩し、妥協して闘って、いい結果が出るはずありません。
民進党の内部には自民党や保守陣営と同じ立場の人がソロソロいたので、重要なときに、そんな人たちが裏切る可能性はいくらでもあったのであって、そんな連中を信用し、仲間として統一戦線を組んだ志位氏が暗愚だっただけです。

私の経歴、考え、決意

国会を見るに、700余人もの議員はみな腐敗し、権力闘争にふける権力者となり、政治的詐欺師や、私利や特権を追い求めるだけの議員病患者のような連中はかりです。
私は、この横須賀、三浦の地で育ち、小中高も学び、大学では教職の資格を得て、このふる里の地の県立三崎高校をスタートに県内の多くの高校で生徒たちとともに、生徒たちを愛し、教えるというより共に学びながら、教職の41年間を生きてきました。
私は20代の若い頃から、社会運動に生涯を捧げることを決意し、それ以来、一貫して働く者のために生きていくことを考えてきました。
今、都知事の小池や、民進党の解散にもなる政治家の出処進退や、彼らの腐敗や議員病、自分の利得やエゴや権力欲だけで右往左往するありさまを見て、私の人生や生き方からすれば、あり得ない醜態なさまに見えます。私は仮に国会に出て行っても、あんな議員には決まらなない、ああした腐敗議員になるくらいなら死んだ方がまだいいと思います。
生まれも育ちも人生も、親譲りのエリート政治家とは共通点の何もない私ですが、働く人たちの声の代弁者、代表として、国会という闘いの場に送ってください。

投票日 10月22日(日)

投票時間 午前7時から午後8時まで

投票は18歳からできます。

- ◎衆議院小選挙区選出議員選挙
投票用紙(ピンク色)には、候補者1人の氏名を記入します。
- ◎衆議院比例代表選出議員選挙
投票用紙(あさぎ色)には、名簿届出政党等の名称を1つ記入します。
- ◎最高裁判所裁判官国民審査
投票用紙(うぐいす色)には、やめさせた方がよいと思う裁判官については、氏名の上の欄に×を書きます。
やめさせなくてよいと思う裁判官については、何も書かないください。

投票日に、投票所に行けない方は、期日前投票又は不在者投票をご利用ください。